

お知恵拝借くるまざトーク 2/15利用登録団体連絡会議

市民活動センターの1年を振り返り、みなさんからのアンケートの結果報告を兼ねた年度末の集まりです。資金作りや人材確保、集客と広報など共通の悩みを持つみなさんが、自分たちの工夫やアイデアを出し合い、和やかなひと時となりました。令和7年度もアンケート結果やこの場で出された要望や意見を反映させ、事業を行っていきます。



令和7年度事業予定

もっと知ったらもっと使える！ 市民活動センターをフル活用しよう

情報	センター事業、市民活動や助成金情報などの発信 ・情報誌パートナー発行（偶数月） ・しみず市民活動センター情報発行（偶数月） ・ホームページ運営 ・Facebookページ、ここからネットの発信 ・メールマガジン配信（毎月初） ・情報コーナー 書籍閲覧、チラシやパンフレット配架 ・団体紹介カードの掲示、配布 地域メディアとの協働事業 ・エフエムしみず静岡S-Weve 出演コーディネート 毎月第1木曜日 17:00～	講	啓発講座 ボランティアや市民活動を知ってつながる講座 人材・団体育成講座 NPO法人向け実務講座 業報告書作成講座・総会の開き方講座 決算書作成講座 NPOの運営 こうしたらもっと伝わる！広報講座 ステップアップスマホ撮影 会議運営を学ぶファシリテーション講座 実践助成金申請講座 参加も運営ももっと楽しく！イベント企画・運営講座 共催事業 地域の課題解決に向け活動をしている利用登録団体との共催企画 広報や運営面でのサポートをします。 ＊講座・イベントのほか、展示企画も随時募集します。
相談	・認定NPO、NPO法人の設立や運営、解散等 ・NPO法人の定款変更や事業報告書作成等の実務 ・団体の立上げや運営 ・助成金、資金調達 - その他、市民活動全般に関する相談に対応します。	座	
ブース支援	・事務ブース入居団体定例会議による情報交換、交流 ・個別懇談によるサポート ・相談等含め活動サポート 入居にあたっては選考委員による審査があります。 入居希望は随時受け付けます。		
記念事業	19周年記念事業 利用登録団体を中心に実行委員会を立上げ、地域とつながる楽しい企画を作っていきます。	連携交流事業	・利用登録団体連絡会議 2月 センター事業の報告、団体間交流企画 ・団体同士が交流し、協力・協働につなげる企画 ・地域とつながり、まちの活性化に貢献する事業 「清水七夕まつり」や他セクターの事業企画への参加

農業高校発!!NPO法人 いきものがかり de みんなの農業高校

2025年1月に設立の
若者たちの団体です!!



代表 榊原宏美さん



令和4年度に静岡市が行ったアンケートによると、「あなたはNPOやボランティアなどによる活動に参加したことがありますか?」の問いに対して、「ある」と答えた割合はどの世代よりも20代が多いという結果でした。理由として、「自己の楽しみや成長のため」という一方で、「学校や職場の取組みの一環として」という回答が多数を占めました。市民活動の現場でもSDGsに関連した学校の取組みも増え、いろいろな活動に参加する学生が増えています。しかし、進学や就職を機に活動をやめてしまう学生も一定数いるというのが現状です。

そのような中、2025年1月に設立したNPO法人「いきものがかり de みんなの農業高校」のメンバーは90%が10～20代で、静岡農業高校の卒業生です。社会人になっても活動を続けていこうとNPO法人として新たなスタートをきりました。活動に携わっている高校生、卒業生を交えて、法人立ち上げの中心となった代表の榊原宏美さんから話をうかがいました。

農業高校の特色を活かした活動

静岡県立農業高校で教員をしています。現在は休職中で4月から復帰予定です。環境科学科では、農業高校の生徒が、小学生・幼稚園に農業高校で飼育している動物を連れていく動物ふれあい活動を行っていました。動物にふれあえるので子ども達は楽しいけれど、農業高校の生徒にとってはただ動物とふれあいをさせるだけの活動でした。そこで、生徒たちが農業高校で学んだことを活かせるように、2017年に学習活動のプロジェクトとして、有志のメンバー6名で研究班「いきものがかり」を発足しました。

校内で任意団体立上げ

2018年に、農育プロダクション「いきものがかり」by 静岡農業高校という任意団体を学校内に立ち上げました。農業高校で学ぶ動物や自然等を、訪問先の子ども達も一緒に学ぶことが出来る「いきもの教材」の作製が主な活動です。生徒達が作成した教材を、教科書の内容に沿っているかを確認し、必要があれば修正してもらいました。こうして出来たのが「やさいのおなか」という教材です。「やさいのおなか」は、野菜の断面図から野菜の名称を当てる教材で、小学2年生の生活科、3年生と5年生の理科に活用できます。



① 学童で行った教材「どうぶつのうんち」



② 教材「やさいのおなか」の制作風景



③ まつぼっくりを使ったお化けづくり



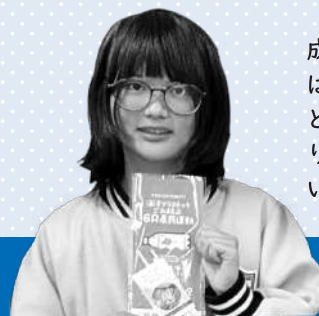
年々進化する教材づくり

生徒から自分たちが育てたもので教材を作ってみたという声があり、六条大麦を育てることになりました。育て方が分からなかったので、NPO法人複合力の加藤さんに大麦の育て方を教えてもらいに行きました。加藤さんが実践してくれた麦わらストローの作り方をした生徒が「これなら子どもでも作れる」と気に入って、教材づくりとしての研究をしました。子どもが口に入れることができるように、食品衛生法「器具及び容器包装の規格」に準じた検査を行う等の安全性も追求しました。こうした一連の活動は、企業と連携した「SHIZUOKA STRAW PROJECT」となり、2021年に静岡県SDGs連携アワードとして表彰されました。

休職を機にNPO法人設立へ

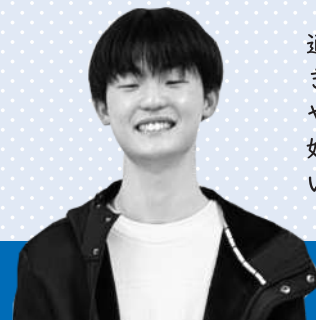
2017年から取り組んできた活動でしたが、私が学校を休職した時に、活動が停滞してしまいました。休職に限らず学校が変わってしまったら活動を続ける人がいなくなってしまうかもしれない。生徒達も一生懸命頑張っていたので、このまま終わらすのはもったいないと思いました。そこで、「いきものがかり」だった卒業生と連絡を取り、学校の任意団体とは別に、卒業生を中心としたNPO法人を立ち上げたい旨を相談しました。すると、ほとんどの卒業生が、「終わらすのはもったいない」と言ってくれたので、NPO法人を設立しました。メンバーに、活動の企画案を募集したところ、20件近い提案が出てきました。メンバーの投票で、「コンクリート実験」「日本茶の飲み比べ」等の企画が決まりました。今年中に開催する予定で、現在準備を進めています。

在校生のこえ



成り行きで入った部分があります。でも、子どもが好きなこともあり、なんだか楽しかったです。

あずさん
(高校2年生)



通常の高校生が体験できないことができて、やり得です。なにより好きなのは、活動している時の「空気」です。

大悟くん
(高校2年生)

卒業生のこえ



いきものがかりでの経験が、社会人になっても役立っていると感じます。

京佳さん
(社会人4年目)



高校時代も楽しかったので、終わらすのはもったいないと思っていました。

澪莉さん
(専門学生1年目)

・編集後記

インタビューを通じて感じたことは、先生発の取り組みだったものが、3年間の活動を通じて、それぞれがやりがいや楽しさを見つけていることでした。近年、授業の一環とした活動や取り組みが増えているので、卒業生と一緒にNPO法人を立ち上げた「いきものがかり」の動きは、新たな可能性を感じさせてくれました。

(取材日：2025年2月22日 文章・インタビュー前田嶺)

活動情報は
こちらから!!



@IKIMONO366.NPO



！ NPOワンポイント 定期総会の準備は進んでいますか？

3月31日に事業年度末を迎えたNPO法人のみなさんは、総会に向けて多忙な時期を迎えます。予定を立て、無理なく準備を進めていきましょう。

総会までのスケジュール

①総会日程・会場の決定 → ②議案書作成 → ③監査 → ④総会案内発送 → ⑤総会開催

以上が大まかな流れで、理事会を中心に準備を進めることになります。

▶詳しい内容は、4月1日から配信されるNPO法人はじめての総会ロードマップを視聴してください。

総会に提出する議案

①所轄庁に提出する事業報告書等

事業報告書、財務諸表

②団体定款上総会で議決することが決められている事案

団体の定款の「総会の権能」の条文中に記載されている討議事項に倣ってください。

▶事業報告書等の作成についても下記講座で詳しくお伝えしています。

センター主催講座のお知らせ

計画から開催まで NPO法人はじめての総会ロードマップ

総会は会員の意見を直接聞く最高の議決機関です。

そのための準備に必要な事柄について順を追って説明していきます。

法人認証を受けて初めて総会を開くという団体は、特に視聴をお勧めします。



みんなのための事業報告書等作成講座

NPO法人が毎年所轄庁に提出する事業報告書は総会の議決が必要です。

監査や総会に備え、書類を作っていきます。また、任期満了を含む役員変更、定款変更をおこなった場合に提出する書類についても解説します。

どちらも時間や場所を選べる動画(YouTube)による講座です。

受付期間 2025年4月1日(火)～6月30日(月)

配信期間 2025年4月1日(火)～7月14日(月)

講師 清水市民活動センタースタッフ

受講方法 センターHPから、またはメールでお申し込みください。限定URLをお送りします。また、視聴後はアンケートにご協力をお願いします。

しみず・ごしなみに？ その66

子どもの居場所づくりの活動を長年続けている団体を、ボランティアとしてずっとサポートしている方がいます。

タケノコの季節にはタケノコを、寒くなると畑で収穫したさつまいもを持って子どもたちのところにやってきます。

火おこしやまき割りなど、今ではあまり経験する機会のないことを体験させてくれ、子どもたちも毎年楽しみにしているようです。

ある時、竹を使ってこんなものを作ってくれました。

一見何をするものなのか分かりませんが、裏側に輪ゴムを通してゴムの力で竹ぐしの先についた玉を飛ばすという仕組みです。白いサイコロ状の玉は実は大根を刻んだもの。

自然にある材料でおもちゃを自作することなど今どきの子どもたちにはまずありませんし、大人も知らないかもしれません。

大根を的に当てて楽しむ子どもたち、ちょっとうらやましいですね。

